

## 研 修 区 分 表

平成 年 月 日作成

科目・教科	研修時間				到達目標・講義の内容・演習の実施方法 実習実施内容・通信学習課題の概要等
	通学	通信	実習	計	
<b>1 職務の理解 (6時間)</b>	<b>6</b>			<b>6</b>	<p><b>(到達目標)(評価の基準)</b></p> <p>2000(H12)年の介護保険法の施行以後、それまで主に家族により支えられてきた介護は、社会全体で支える方向に向かっています。サービスを提供する場面は、施設や居宅などさまざまです。人は、高齢者であっても、障害者であっても、個人として尊重され自立した生活を送り、社会、文化などあらゆる活動に参加する権利がある。これらの実現のために、介護職がどのような仕事を行い、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。</p> <p><b>(指導の視点)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修課程全体(130時間)の構成と各研修科目(10科目)の相互関係・全体像を事前にイメージできるようにする。学習内容を、体系的に整理し、知識を効率的・効果的に学習できるような素地の形成を促す。視聴覚教材等を活用し、施設見学を組み合わせ、介護職が働く現場や仕事の内容を具体的に理解する。</li> </ul>
(1) 多様なサービスの理解	3			3	<p><b>(内容)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>介護と介護保険制度の意義 <ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険制度の意義</li> <li>介護保険制度の下での介護</li> </ul> </li> <li>多様なサービスと介護職の仕事、働く現場 <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問介護サービス</li> <li>小規模多機能型居宅介護</li> <li>介護老人福祉施設、介護老人保健施設等</li> <li>認知症対応型グループホーム</li> <li>居宅介護サービス(訪問介護サービス以外)</li> <li>介護保険以外のサービス(障害者支援施設、宅老所)</li> </ul> </li> <li>介護職の資格体系の見直し、キャリアパスの全体像 <ul style="list-style-type: none"> <li>初任者研修修了段階(介護職への入職段階)</li> <li>介護福祉士取得段階</li> <li>認定介護福祉士(仮称)段階</li> </ul> </li> <li>介護の理解と現任者研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>OJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング; 職務を通じての研修)</li> <li>OFF-JT(オフ・ザ・ジョブ・トレーニング; 職務をはなれての研修)</li> </ul> </li> <li>介護現場で求められるOJT <ul style="list-style-type: none"> <li>介護職を育成するOJT</li> <li>OJTの機会と方法</li> </ul> </li> <li>介護職のキャリアのつながるOJT <ul style="list-style-type: none"> <li>初任者研修修了後の場合</li> <li>職務能力(できること、出来ないこと)の評価と振り返り(リフレクション)</li> <li>介護職のキャリアアップにつながる契機; 現任者研修で大切にしたいこと</li> </ul> </li> <li>OJT・OFF-JTの実際 <ul style="list-style-type: none"> <li>施設介護サービス</li> <li>通所介護サービス</li> <li>訪問介護サービス</li> </ul> </li> </ol>
(2) 多様な仕事内容や働く現場の理解	3			3	

※記載内容は、要綱の別紙2の内容を網羅したものとする。

※講義と演習は一体的に実施すること。なお、科目9の(6)から(11)および(15)の実技演習は、実技内容等を記載すること。

※時間配分の下限は30分単位とする。